

# せきしん 景気動向調査レポート

## 地域内の主な経済指標の推移

主要指標			7月			8月			9月			
				前月比	前年比		前月比	前年比		前月比	前年比	
人口 及び 世帯数	関市	人口	83,465	-57	-809	83,418	-47	-818	83,357	-61	-811	
		世帯数	36,795	22	292	36,832	37	295	36,870	38	328	
	岐阜市	人口	392,375	-175	-2,112	392,297	-78	-2,046	392,350	53	-1,923	
		世帯数	176,419	69	894	176,510	91	1,015	176,607	97	1,139	
	美濃市	人口	17,757	-14	-388	17,779	22	-353	17,780	1	-315	
		世帯数	7,237	29	-69	7,302	65	-14	7,321	19	29	
	美濃加茂市	人口	56,939	10	17	56,966	27	71	56,964	-2	91	
		世帯数	23,510	-24	361	23,549	39	378	23,586	37	407	
	各務原市	人口	141,264	27	-466	141,163	-101	-499	141,104	-59	-539	
		世帯数	59,522	74	821	59,544	22	848	59,569	25	805	
	岐阜県	人口	1,899,238	-849	-16,854	1,898,430	-808	-16,735	1,897,676	-754	-16,387	
		世帯数	802,593	507	5,909	803,197	604	6,352	803,787	590	6,641	
	住宅着工件数	関市		24	-7	4	23	-1	-2	—	—	—
		岐阜市		194	53	-1	189	-5	-6	—	—	—
美濃市			1	-2	-1	1	0	-2	—	—	—	
美濃加茂市			21	9	-22	26	5	-11	—	—	—	
各務原市			60	4	3	58	-2	-21	—	—	—	
岐阜県			673	46	-76	713	40	-98	—	—	—	
雇用失業 情勢	関市	有効求人倍率	1.02	0.00	-0.10	1.15	0.13	-0.08	—	—	—	
	岐阜県内	有効求人倍率	1.41	0.07	-0.05	1.41	0.00	-0.08	—	—	—	
	全国	有効求人倍率	1.18	0.04	-0.02	1.18	0.00	-0.05	—	—	—	
企業倒産 状況	岐阜県内	件数	15	4	2	14	-1	2	14	0	8	
		金額(百万円)	1,272	-3,562	-132	4,535	3,263	3,863	946	-3,589	661	

参考資料・・・関市人口推移、岐阜県市町村別推計人口・世帯数、岐阜県建築着工統計等

- 調査期間…令和7年9月上旬
- 調査対象…当金庫取引事業先
- 調査方法…アンケート調査
- 調査内容…令和7年7～9月期の景気実態と令和7年10～12月期の景気予測

## はじめに

取引先中小企業の景気動向調査を実施し、取りまとめましたのでご報告いたします。  
 調査は、令和7年7～9月期の景気実態と、令和7年10～12月期の景気予測などについて当金庫取引事業先の製造業・卸売業・小売業・サービス業・建設業・不動産業の6業種から抽出した208社を対象にアンケート調査し、191社からご回答をいただきました（回収率91.82%）。

## 主な指数の推移

D Iとは景気や業況の動きを捉えるための指数  
 $D I = (\text{良い} + \text{やや良い}) - (\text{やや悪い} + \text{悪い})$

※なお、数値については、少数点第二位以下を切り捨てて表示してあります。

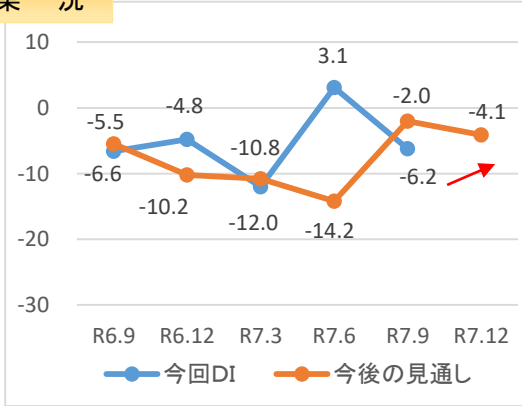
業種	業況判断D I			売上判断D I			収益判断D I		
	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し
総合	▲6.2	3.1	▲4.1	▲0.5	4.7	2.0	▲6.8	▲1.5	▲1.5
製造業	▲3.6	9.8	▲3.6	1.8	5.8	7.2	▲1.8	3.9	3.6
卸売業	▲10.5	▲4.5	▲10.5	5.2	▲9.0	0.0	10.5	▲9.0	10.5
小売業	▲14.7	5.7	▲17.6	▲14.7	22.8	▲8.8	▲26.4	2.8	▲8.8
サービス業	▲17.6	2.9	▲5.8	2.9	0.0	0.0	▲11.7	▲5.8	▲11.7
建設業	8.8	3.0	14.7	5.8	▲3.0	17.6	2.9	▲3.0	11.7
不動産業	0.0	▲12.5	▲6.6	▲6.6	6.2	▲20.0	▲13.3	▲6.2	▲26.6

業況判断D Iは総合で▲6.2となり、前回より9.3ポイント低下で業況は悪化した。業種別では建設業が改善、不動産業は回復したものの、製造業、卸売業、小売業、サービス業は悪化した。

今後の見通しは、総合で今回実績と比べやや改善すると見込まれており、業種別ではサービス業、建設業は改善、製造業、卸売業は今回同様でやや悪くなると予測、小売業、不動産業は業況が今より悪くなると予測されている。

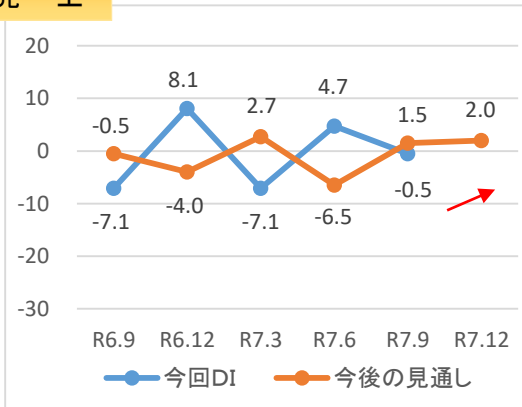
売上判断D Iは総合で前回より5.2ポイント低下したものの、今後の見通しは、回復すると予測されている。収益判断D Iは総合で前回より5.3ポイント低下したものの、今後の見通しは、改善すると予測されている。

### 業況

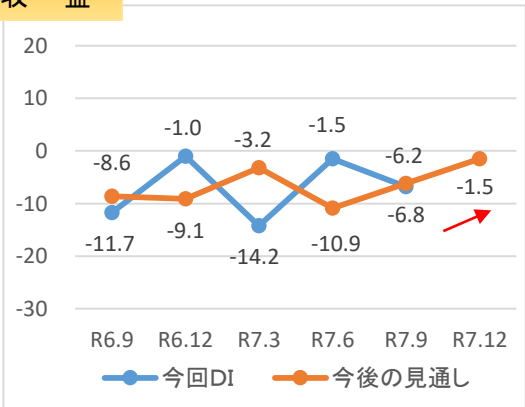


業況は、総合で低下した。  
今後の見通しは改善すると予測されている。

### 売上

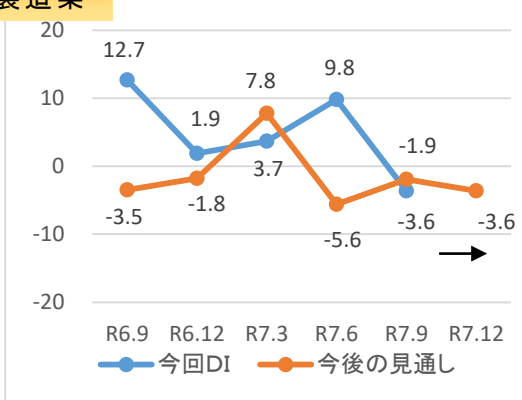


### 収益



## 業種別業況判断DIの推移

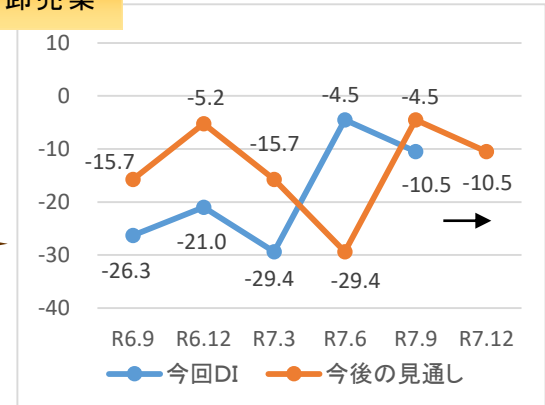
### 製造業



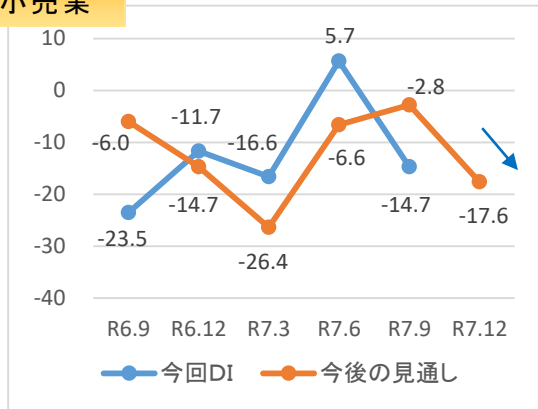
業況は、低下した。  
今後の見通しは今回同様と予測されている。

業況は、低下した。  
今後の見通しは今回同様と予測されている。

### 卸売業



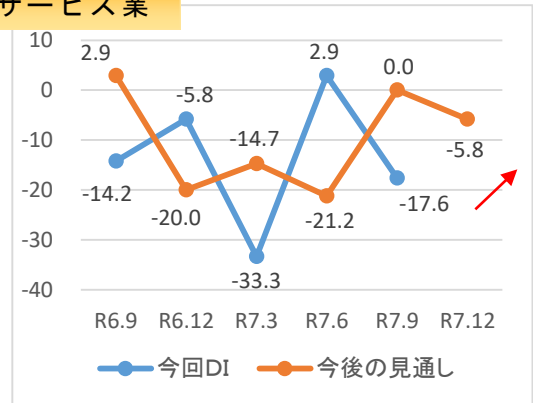
### 小売業



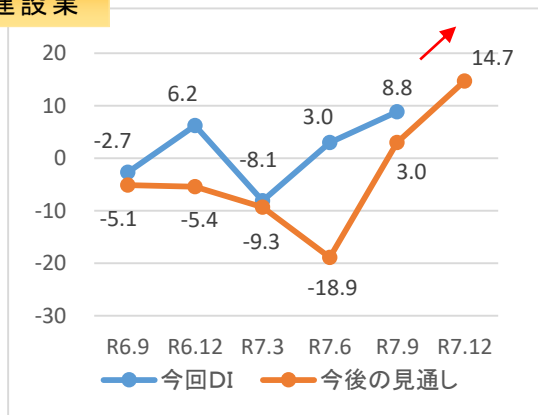
業況は、低下した。  
今後の見通しはさらに低下すると予測されている。

業況は、低下した。  
今後の見通しは改善すると予測されている。

### サービス業



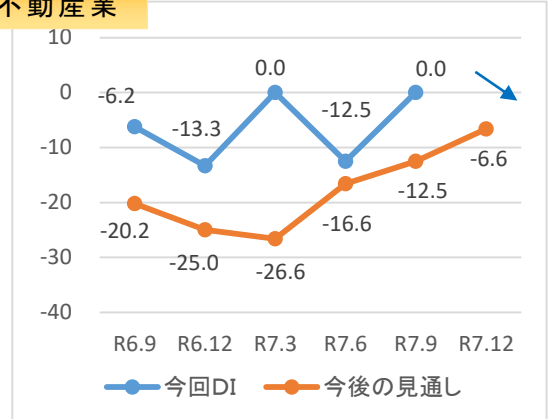
### 建設業



業況は、改善した。  
今後の見通しはさらに改善すると予測されている。

業況は、回復した。  
今後の見通しは低下すると予測されている。

### 不動産業



## その他の指数の推移

業種	資金繰り判断D I			販売価格判断D I			仕入価格判断D I		
	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し
総合	▲ 4.7	▲ 0.5	▲ 4.7	28.7	35.0	20.9	47.1	50.7	46.5
製造業	▲ 1.8	▲ 3.9	▲ 3.6	20.0	37.2	12.7	40.0	49.0	34.5
卸売業	▲ 10.5	18.1	▲ 21.0	47.3	59.0	21.0	52.6	68.1	36.8
小売業	▲ 8.8	8.5	▲ 8.8	47.0	40.0	38.2	58.8	54.2	61.7
サービス業	▲ 11.7	▲ 17.6	▲ 8.8	32.3	26.4	29.4	41.1	47.0	50.0
建設業	2.9	3.0	8.8	20.5	24.2	17.6	55.8	51.5	55.8
不動産業	0.0	▲ 6.2	0.0	6.6	25.0	0.0	33.3	31.2	40.0

資金繰り判断D Iは総合で前回より4.2ポイントマイナスの▲4.7で資金繰りはやや苦しくなっており、今後の見通しは、今回同様と予測されている。

販売価格判断D Iは総合で前回より6.3ポイントマイナスの28.7、今後の見通しは、今回より7.8ポイントマイナスで20.9、今後も販売価格は上昇傾向にあると予測されている。

仕入価格判断D Iは総合で前回より3.6ポイントマイナスの47.1、今後の見通しは、今回より0.6ポイントマイナスで46.5、仕入れ価格もやや上昇しており、今後も上昇していくと予測されている。

業種	残業時間判断D I			人手過不足判断D I			設備状況判断D I			設備投資実施企業割合		
	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し	今回	前回	今後の見通し
総合	▲ 4.1	▲ 5.2	1.0	▲ 28.2	▲ 23.5	▲ 29.3	▲ 9.0	▲ 7.4	▲ 7.9	25.5	22.2	25.0
製造業	▲ 5.4	▲ 15.6	3.6	▲ 25.4	▲ 35.2	▲ 27.2	▲ 3.6	▲ 5.8	▲ 3.6	27.7	32.0	34.6
卸売業	▲ 5.2	▲ 4.5	▲ 10.5	0.0	▲ 18.1	▲ 5.2	▲ 10.5	0.0	▲ 10.5	27.7	5.0	17.6
小売業	0.0	5.7	2.9	▲ 38.2	▲ 25.7	▲ 44.1	▲ 11.7	▲ 11.4	▲ 14.7	26.4	8.8	24.2
サービス業	▲ 11.7	▲ 2.9	▲ 5.8	▲ 35.2	▲ 14.7	▲ 32.3	▲ 17.6	▲ 8.8	▲ 11.7	25.0	25.8	21.2
建設業	2.9	▲ 3.0	11.7	▲ 32.3	▲ 18.1	▲ 29.4	▲ 5.8	▲ 9.0	▲ 2.9	20.5	29.0	18.1
不動産業	▲ 6.6	▲ 6.2	▲ 6.6	▲ 26.6	▲ 18.7	▲ 26.6	-	-	-	-	-	-

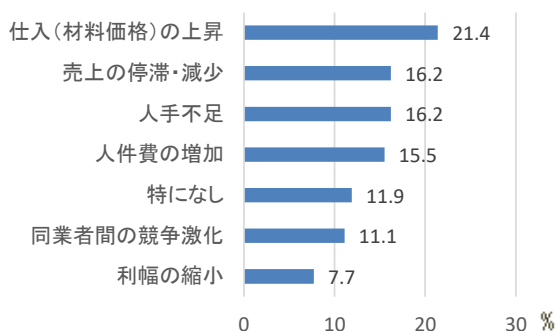
残業時間判断D Iは総合で前回より1.1ポイントプラスの▲4.1、今後の見通しは、今回より5.1ポイントプラスで、さらに増加すると予測されている。

人手過不足判断D Iは総合で前回より4.7ポイントマイナスの▲28.2、今後の見通しは、今回より1.1ポイントマイナスで、人手不足感はさらに強まると予測されている。

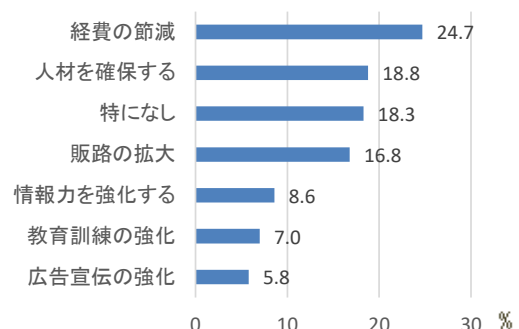
設備状況判断D Iは総合で前回より1.6ポイントマイナスの▲9.0、今後の見通しは、今回より1.1ポイントプラスになると予測されている。

設備投資実施企業の割合は総合で前回より3.3ポイントプラスの25.5%、今後の見通しは、今回より0.5ポイントマイナスで、若干低下すると予測されている。

### 【経営上の問題点】



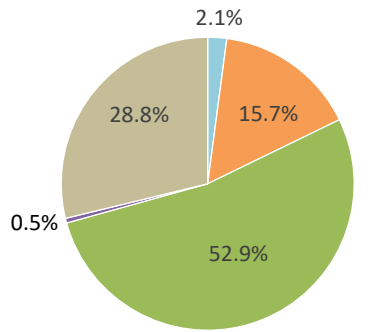
### 【当面の重点施策】



《特別調査》不透明感が増す経済社会情勢と中小企業経営について

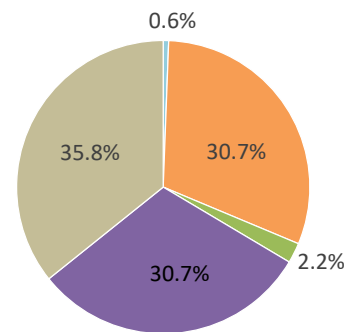
問 1. 米国のトランプ関税による売上への影響と今後の売上の予想について

これまでの売上



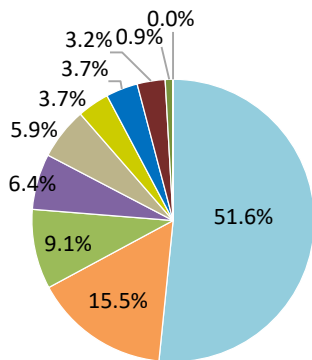
- 大いに悪影響があった 2.1%
- 多少の悪影響があった 15.7%
- 特に影響がなかった 52.9%
- むしろ良い影響があった 0.5%
- わからない 28.8%

今後の売上



- 大いに影響があると予想する 0.6%
- 多少の影響があると予想する 30.7%
- 特に影響がないと予想する 2.2%
- むしろ良い影響があると予想する 30.7%
- わからない 35.8%

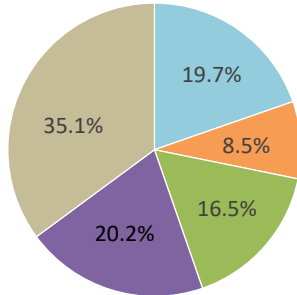
問 2. 中国経済の減速によって受ける影響について



- 特に影響を見込んでいない 51.6%
- 原材料・部品・商品等の調達難 15.5%
- 中国からの輸入コストの上昇 9.1%
- 為替変動による収益の悪化 6.4%
- 中国と取引のある元請け企業からの受注減少 5.9%
- 中国製品との価格競争の激化 3.7%
- 中国企業や個人向け売上の減少 3.7%
- 売掛金回収リスクの増大 3.2%
- 中国人労働者の増加 0.9%
- その他 0.0%

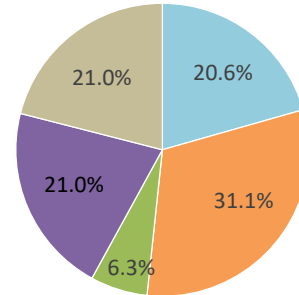
問3. 望ましい外国為替相場の水準とコロナ禍以降の物価上昇傾向がもたらす経営への影響について

為替相場の水準



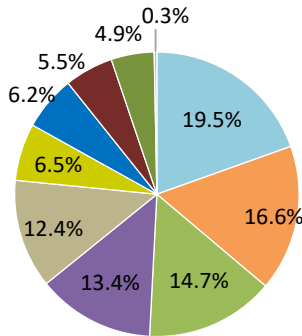
- 現状より円高傾向が望ましい 19.7%
- 現状程度が望ましい 8.5%
- 現状より円安傾向が望ましい 16.5%
- 自社には関係ない 20.2%
- わからない 35.1%

物価上昇による影響



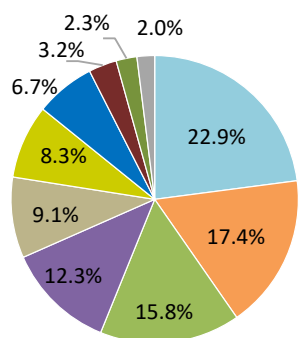
- 良い影響をもたらしている 20.6%
- どちらともいえない 31.1%
- 悪い影響をもたらしている 6.3%
- 自社には関係ない 21.0%
- わからない 21.0%

問4. 不透明感が増す経済社会情勢を受けて、経営面で見直したい取組みについて



- 特になし 19.5%
- 既存顧客との関係強化 16.6%
- 従業員教育の強化 14.7%
- コスト削減 13.4%
- 新規顧客の開拓 12.4%
- 事業の多角化 6.5%
- デジタル化の推進 6.2%
- 貸金繰りの見直し 5.5%
- 新商品・サービスの開発 4.9%
- その他 0.3%

問5. 不透明感が増す経済社会情勢を受けて、地域金融機関の体制面で望むことについて



- 要望に対する迅速な対応 22.9%
- 特に期待していない 17.4%
- 担当者の頻繁な人事異動がないこと 15.8%
- 金融機関の本部専担者・外部専門家による支援 12.3%
- インターネットバンキング等の非対面チャンネル充実 9.1%
- 担当者交代時の丁寧な引継ぎ 8.3%
- 担当者の訪問回数の増加 6.7%
- 支店窓口での相談機能の強化 3.2%
- その他 2.3%
- 担当者訪問時の滞在時間の延長 2.0%



# 関信用金庫

当金庫ではスマートフォンのアプリ「LINE」において、LINE公式アカウントを開設いたしました。「友だち登録」していただいたお客さまにキャンペーン情報や地域のイベント等をご提供いたします。公式アカウントからIDまたは公式アカウントを検索するか右のQRコードを読み込んでください。(ID : dum4286b)

